

学校基板の充実に向けて



4・5月は日差しが強くなり、青空と多くの花が咲く
春の季節で、大変過ごしやすく、芝生の校庭には、タンポ
ポの花が咲き乱れています。



校長 高橋 正明

今年で創立46年目となり、3月に3名の児童生徒と2名の派遣教員が帰国し、
今年度新たに7名の児童生徒と2名の派遣教員を迎えました。児童生徒16名、
派遣教員5名、現地職員2名の総勢23名の家庭的雰囲気のある学校です。小学校1
年生から中学校3年生までが在籍しており、みんな明るく素直で、自分より小さ
い子どもたちの面倒をよく見てくれています。学校行事や児童生徒会主催の行事
は日本より多く、みんなが主役になれる学校です。校庭や施設は小さく不便な面
もありますが、日本の学校より多くの体験ができるよい環境の学校です。

各教科の授業は2学年以上を合わせた複式授業を中心に行なっています。自主
学習も必要になりますが、他学年の子どもたちと復習したり、教え合ったりして
よい刺激になっています。先生1人に児童生徒2人～8人の割合で学び、個に応
じた授業が行なわれ、活動と考える時間が多く、みんなできることが多くなって
きています。週1回45分ですが、小学校4年生以上で特別活動時間も設けてい
ます。小中学校の委員会活動、小学校のクラブ活動、中学校の部活
動にあたる授業です。



校外学習は、学年で分かれて実施している宿泊学習（小4～中3）、校外体験学習（小1～3）と、全校で実施する遠足、社会見学、バレエ舞台練習見学、他校交流会など多くのプログラムを予定しています。

年2回実施している学校評価アンケートでは、学校全体として良い評価をいただいております。今後も児童生徒を第一に考えながら、現状に合った智恵を出していきます。更に、ルーマニア国内の法律整備に伴い、学校基盤となる新制度へも対応しているところです。昨年、ルーマニア行政からの指示で新金融登録番号を取得し、正式に非営利法人として認可されました。現在は、それに合わせて新銀行口座の開設、新制度による外国人学校ステータス（ARACIP）の取得、校舎の火災安全証明書の取得に向けて運営委員会と協力して進めているところです。

今年度は本校の更なる発展と多くの課題に対処する必要がありますが、日本から遠く離れたルーマニアで、子どもたちの笑顔が毎日見られ、無事に日常生活が送れていることに感謝し、毎日毎日の学校生活を大切にしていきたいと考えてい

ます。

